

令和2年度 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部

教員免許状更新講習募集要項

開催日程

領域	講習開催日	対象職種
必修講習	2020年10月31日(土)	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教諭及び養護教諭、栄 養教諭等
選択必修講習	2020年11月1日(日)	
選択講習	2020年11月14日(土) 15日(日) 21日(土)	養護教諭、栄養教諭、幼稚園教諭等

開催講習・定員・受講料

領域	講習名	定員	受講料	備考	
必修	教育の最新事情	130名	6,000円		
選択必修	学校を巡る近年の状況の変化、学校に おける危機管理上の課題	50名	6,000円	選択必修3講座のな かから1講座を 選択して下さい。	
	教育相談	50名	6,000円		
	学校、家庭及び地域の連携及び協働	50名	6,000円		
選択	養護教諭対象選択講習	30名	18,000円	3日間の講習です。	
	幼稚園教諭対象 選択講習	音楽コース	25名		18,000円
		造形コース	25名		
		身体表現コース	30名		
栄養教諭対象選択講習	20名	18,000円			

<注>幼稚園教諭対象講習の1、2日目は80名での合同受講となります。3日目については希望のコースに分かれての受講となります。申込の際に音楽コース・造形コース・身体表現コースのいずれかを選択のうえ、お申込ください。

申込受付期間

2020年8月3日(月) 10時 ~ 2020年8月21日(金) 24時まで

受講対象者

講習を受講できるのは、教員、採用内定者のほかに、過去に教員として経験がある者、臨時任用（または非常勤）教員リスト登録者などです。勤務する学校の校長や、その者を雇用しようとする者または臨時任用（または非常勤）教員リストを作成している教育委員会や学校法人が発行する受講対象者であることの証明書類を提出していただく必要があります。

なお、受講対象者でない方が間違っ受講した「修了（履修）証明書」は免許状の更新に使用することができませんのであらかじめ文部科学省のホームページ等で確認のうえ申し込みをしてください。

↓教員免許状 期限確認ツール（文部科学省サイト）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/013/1420173.htm

講習会場

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部：三重県鈴鹿市郡山町 663 番地 222

○近鉄千里駅から徒歩約 30 分／三重交通バス「太陽の街」行きに乗車し
「鈴鹿大学前」で下車。

○自家用車の場合は、当日指定する場所に駐車してください

アクセス | 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部

<http://www.suzuka-jc.ac.jp/about/access.html>

※当日のスクールバスは運行しておりませんので、ご注意ください。

受講の申し込み方法等について

1. IDの取得について

下記の「教員免許更新講習システム（以下、システム）」へアクセスをして、受講者の登録をし、事前にIDの取得を行ってください。IDは登録後に画面表示される「20SJC00000」といった10桁の英数字になります。IDの取得は受付開始日以前に取得することができます。登録時のメールアドレスとパスワード、取得したIDは必ず控えておいてください。昨年度に本学のシステムでIDを取得された方は、そのIDを使用することができます。

鈴鹿大学、鈴鹿大学短期大学部 教員免許更新講習システム

<https://www.kousinkousyu.jp/suzuka-tanki/l/1020cir/siteTop/browse.action>

2. 申し込み予約について

8月3日（月）10時から8月21日（日）24時までが受付期間です。これらの「申し込み予約」の手続きは、インターネットのシステムからのみとなっており、郵送等での「申し込み予約」はできません。

定員になり次第締め切ります。なお、締め切り以降であってもキャンセル等が発生し定員に満たない場合は、申し込みが可能です。その場合の申し込み方法は、直接本学（☎059-372-3900）へ問い合わせの上、所定の手続きを行ってください。

3. 受講申込書・免許状の写しについて

- ① システムで事前アンケート（課題意識調査）にお答えください。
- ② システムのトップページにて「受講申込書」を印刷し、写真（縦 3.8cm、横 2.8cm）を貼付してください。
- ③ 「受講申込書」には氏名欄への押印と、下部に所属長等による受講対象者に該当することの証明を必ず受けてください。
- ④ 新免許状保持者の方は、免許状の写しも同封してください。
以上を準備して、**8月31日（月）（必着）まで**に本学へ提出してください。

【受講申込書送付先】

〒510-0298 三重県鈴鹿市郡山町 663 番地 222
鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部教員免許状更新講習担当

お願い！

毎年、押印漏れや終了確認期限の記載間違いが見られ、その対応に時間を要していますので、提出前には必ずご確認をお願いいたします。

4. 受講料の振り込みについて

受講申込書が届き次第、随時本学から「受講許可書兼受講料請求書」をお送りいたします。記載されている受講料に誤りがないかお確かめの上、**9月18日（金）までに**コンビニエンスストアで振り込みをしてください。振り込み手数料は本学負担です。③の受講申込書の提出および④の受講料振り込み手続きが完了された方には、本学から9月末までに「受講票」を送付します。お送りしました「受講票」に、写真を貼付してください。「受講票」は、講習当日にお持ちいただきます。

5. キャンセルポリシーについて

やむを得ない事情で受講をキャンセルする場合は、すみやかに本学へ連絡をして所定の手続きをとって下さい。キャンセル料については、下記の通りご負担いただきます。

講習日3日前より前のキャンセルの場合：1,000円

講習日3日前～当日のキャンセルの場合：受講料**全額**

認定試験の評価について

修了（履修）認定に係る評価は、「優（80点以上）」、「良（70点～79点）」、「可（60点～69点）」、「不可（60点未満）」の4段階です。「不可」の場合は、修了（履修）認定されません。なお、「不可」の場合であっても受講料の返納はいたしませんので、ご了承ください。

また、欠席・遅刻・早退等により講習を受講できなかった場合も、認定の対象となりません。

認定された方には12月下旬に本学から「修了（履修）証明書」が送付されます。

修了（履修）証明書の再発行は当該年度に限り対応いたします。

更新講習修了後の申請について

送付された「修了（履修）証明書」ですみやかに免許管理者（都道府県教育委員会）に更新講習修了の申請を行ってください。「修了（履修）証明書」の再発行には、別途手数料が必要となりますので、紛失等にご注意ください。

講習の開催日および内容等について

講習時間は9:00～16:30ですが、場合によっては終了時間が遅れることがあります。

休憩時間等の設定は各講習で異なります。

(1) 必修講習：教育の最新事情 10月31日（土）

講習内容	講師
<p>「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」導入の背景を考える 前半では、アクティブラーニングについて、国際的な潮流、教育基本法の改定や指導要領との関連、そして子どもの貧困等、近年の子どもの状況、子ども観の変化から理解しようとしています。</p> <p>「愛着形成の視点から子どもの発達を考える」 後半では、子どもの発達について、発達心理学の最新の知見や脳科学的な発達の見解を紹介します。その他、インクルーシブ教育等の特別支援教育の課題を取り上げ、一人ひとりの子どもに沿った支援について考えます。</p>	長澤 貴 杉山 佳菜子

(2) 選択必修講習Ⅰ～Ⅲ 11月1日(日)

※受講申し込みの時に、Ⅰ～Ⅲの中から1つを選択してください。

講習名	講習内容	講師
選択必修Ⅰ	<p>「学校を巡る近年の状況の変化」 前半は、まず、自然災害多発時代の学校を、東日本大震災における被災から復興に至る事例研究から考察する。次に、教員、保護者、地域に期待されるレジリエントな連携教育像を考える。更に、安心安全な学校への構造的変化を具体的に検討する。</p> <p>「学校における危機管理上の課題」 後半は、3つの内容を扱います。まず、校内事故における学校危機管理体制を確認し、性や色覚の多様性、外国につながる子の現状、先駆的な取り組みを紹介し、実際のケースを意見交換します。最後に、現代の「いじめ」対応を考察します。</p>	田邊 正彰 川又 俊則
選択必修Ⅱ	<p>「教育相談(いじめ・不登校への対応含む)」 現在でも継続的な取り組みが求められている、いじめ・不登校・学力不振など、学校が抱える諸問題について、最新データや教育機関の調査・研究結果を紹介し、その対応についての基本的な態度を概説します。また、児童・生徒同士のトラブル・不安や脳の問題についても心理学的な知見を交えながらその対応を紹介し、現代の児童期・青年期および保護者・教師自身の心について理解を深めながら、教育現場での相談活動のあり方について考えます。</p>	杉山 佳菜子 齋藤 信
選択必修Ⅲ	<p>「学校、家庭及び地域の連携・協働 ―その教育的意義を考える―」 前半では、今日の学校に求められている「学校と地域の連携・協働」の背景について理解を深め、その後、地域と共にある学校「コミュニティ・スクール」の整備、及び地域住民の学校運営への参加の在り方について、実践事例、各種資料や答申等を基に解説・検討します。</p> <p>後半では、時代の経過と共に子どもの育ち、家庭の状況、地域の姿などが大きく変化したことについて考えます。その上で今だからこそ必要となる子どもの育ち支援、家庭との連携、地域とのつながりについて事例を通して検討を行います。</p>	伊東 直人 田口 鉄久

(3) 養護教諭対象選択講習 11月14日(土) 15日(日) 21日(土)

開催日等	講習内容	講師
<p>11月14日(土)</p> <p>養護教諭 対象講習Ⅰ</p>	<p>「学校の安全を守るため感染症の総論と災害時に発生する感染症対策について考える」</p> <p>感染症について基礎知識の確認と近年の動向をふまえ、学校現場における安全対策を考える。頻発する国内外の地球規模の災害についての現状と安全管理について考えます。</p> <p>「保健室のセルフメディケーションと学校環境衛生について」</p> <p>子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するためには、学校環境衛生の維持・管理と共に、応急手当てに適した医薬品の適正使用が重要です。</p> <p>学校環境衛生および医薬品に対して理解を深め、子どもの身体と健康を考える教育に活かすことを目的とします。</p>	<p>翠川 薫 林 浩司</p>
<p>11月15日(日)</p> <p>養護教諭 対象講習Ⅱ</p>	<p>「養護教諭が行うフィジカルアセスメント」</p> <p>高機能患者シミュレータを用い、事例(シミュレーション)を通してフィジカルアセスメントの基本技術であるバイタルサイン観察の技術を再確認し、さらなる向上を目指した講義・実習・演習を展開します。講習の到達目標は、次のとおりです。</p> <p>①食物アレルギーの子どもが、アナフィラキシーを起こしたときの救急処置ができるようになる。②アナフィラキシー時のフィジカルアセスメント(バイタルサインを含む)ができる。③発症から救急処置までの経過を記録できる。</p>	<p>小川 真由子 福田 博美</p>
<p>11月21日(土)</p> <p>養護教諭 対象講習Ⅲ</p>	<p>「養護教諭の職務における保健教育と保健管理」</p> <p>子どもたちをめぐる心身の健康課題は、多様化複雑化しています。前半は教職員や保護者が子どもを守るだけでなく、子どもたち自身で健康を守る力を身につけるために、これからの養護教諭にはどのような役割が求められているのかについて講義やグループワークを交えて解説します。後半はそれぞれの養護実践活動を省察し、最新の情報を交えながら、講義やグループワークを通じ、今後の職務展開を考える視点や方法を修得します。</p>	<p>上田 ゆかり 木村 美来</p>

(4) 幼稚園教諭対象選択講習 11月14日(土) 15日(日) 21日(土)

※11月21日(土)に開催される幼稚園教諭対象Ⅲは、「音楽」「造形」「身体表現」のいずれかを選択してください。

開催日	講習内容	講師
11月14日(土) 幼稚園教諭 対象講習Ⅰ	<p>「現代の幼児教育をめぐる課題検討とカリキュラム・マネジメントの理解」</p> <p>前半は、幼児教育をめぐる近年の状況変化を踏まえながら、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改定されたことに伴う今後の方向性について検討し、解説します。</p> <p>後半は幼児教育・保育の質の向上をめざしたカリキュラム・マネジメントはどのように行うのか、計画・実践・振り返りの事例を通して検証する。併せてこれからの幼児教育者に求められる資質・能力について考えます。</p>	井上 剛男 田口 鉄久
11月15日(日) 幼稚園教諭 対象講習Ⅱ	<p>「個別的関りを必要とする子への配慮」</p> <p>前半は、発達障害など個別的な配慮や支援を必要とする「子どもとその親」に対する理解やかかわりについて考え、園生活において「子どもたちがともに育ち合う」教育について深めます。また実践的な視点で、グループワークを通して意見交換をします。</p> <p>後半は、児童虐待について、虐待が疑われたり、通告が必要となったとき、子どもやその親への関りについて、どのようなことに気を付けていけばよいのか、また家庭での虐待の予防的な働きかけなど、園としてできる親への子育て支援について、具体的事例をあげてグループワークを通して意見交換をします。</p>	田中 裕子 泉 正幸
11月21日(土) 幼稚園教諭 対象講習Ⅲ 【音楽コース】	<p>「音楽表現」</p> <p>幼稚園教育における音楽表現活動では、子どもたちの表現をしっかりと受け止め、活動の喜びや楽しさに共感できることが大切です。保育内容の5領域を踏まえ、それぞれの視点から音楽活動を見直すとともに、音楽表現領域を中心に、実践を交えて考えていきます。</p> <p>また、子どもたちと一緒に音楽表現活動を展開する中で、保育・教育者にとって身近な楽器であるピアノ・鍵盤楽器でピアノ奏法と楽典の基礎を学び直し、初見や簡単な伴奏付け、弾き歌いに挑戦します。</p>	大久保 友加里 みやざき 美栄

<p>11月21日(土) 幼稚園教諭 対象講習Ⅲ 【造形コース】</p>	<p>「子どもの価値志向を高める文化」「子どものあそび環境と造形表現」</p> <p>前半は、子どもが新しい時代に的確に対応し、自己確立ができるよう、子どもの個性を伸ばしながら、文化を享受する能力を身につけられるように、大人の認識を振り返ります。</p> <p>後半は、素材の特徴を生かした立体表現、目的や効果を工夫した絵画表現、など造形活動の多様性を体験しながら、子どもの心身の調和のとれた発達を促す方法を探っていきます。</p>	<p>江藤 明美 真下 賢一</p>
<p>11月21日(土) 幼稚園教諭 対象講習Ⅲ 【身体表現コース】</p>	<p>「教育現場における運動遊びの必要性の再考」</p> <p>【前半】「健康第一」って言いますが、そもそも「健康」とはなんでしょうか？からだ、こころ、環境の健康についてグループ討議を通して、あなた自身の健康観についての学びを深めます。また、運動あそびを行うには、「安全」について配慮をすることがとても重要です。運動あそびの安全についての事例を通して、安全に遊ぶための方策について考えていきます。</p> <p>【後半】現代の子どもたちの体力・運動能力の課題等を概観し、幼児期運動指針で示されているポイントを押さえながら、幼児期における運動あそびの必要性や指導する際の留意点等について解説を行います。また、実際に運動をする中で、運動することの楽しさを自ら体験します。</p>	<p>石川 拓次</p>

(5) 栄養教諭対象選択講習 11月14日(土) 15日(日) 21日(土)

開催日	講習内容	講師
11月14日(土) 栄養教諭 対象講習Ⅰ	<p>「成長期における栄養教育」</p> <p>学童期は、心身ともに成長・発達の旺盛な時期にあり、規則正しい生活習慣の形成は重要であることから、本講義の前半では、学童期の身体的変化や日常生活の特徴、学童期の食事の重要性を振り返り、個食や朝食欠食、偏食など学童期に発生する栄養上の問題、栄養教諭の現状などの問題や今後の課題を提起し、グループで話し合い、まとめて発表します。</p> <p>後半では、スポーツをする児童生徒への個別的な相談指導に対応するための基礎知識を得ることを目的としてスポーツ選手に必要な栄養や食事の基本について学びます。</p>	福永 峰子 梅原 頼子
11月15日(日) 栄養教諭 対象講習Ⅲ	<p>「衛生教育に役立つ微生物学の基礎」</p> <p>本講義は、学校における食のリスクのうち、微生物による食中毒について学びます。前半は微生物学の基礎、現在の食中毒の傾向、学校給食または学校行事等で生じた食中毒の事例を検討します。</p> <p>後半は細菌検査と細菌の観察を行い、衛生指導、衛生教育について考えます。</p>	櫻井 秀樹 木下 麻衣
11月21日(土) 栄養教諭 対象講習Ⅱ	<p>「味覚のメカニズムとおいしさ」</p> <p>味覚には5つの基本味があります。本講義の前半ではこの味覚のメカニズムについて学びます。また、味覚の種類による閾値の違いについて実験を通して学びます。後半では、様々な条件・環境が味覚に与える影響を調理を通して学びます。おいしさは味覚のみで感じられるものではないことを理解し、子どもたちへの関わり方についてグループで話し合い、まとめて発表します。</p>	久保 さつき 乾 陽子

その他

1. 講習当日は、8時00分から受付を行っています。会場へは、余裕をもってお越しください。
2. 受講票（写真を貼付したもの）を必ず持参してください。「受講票」を忘れた場合や写真が不備な場合は、受講できないことがあります。
3. 持ち物に関しましては、受講票をお送りする際にご連絡いたします。
4. 暴風警報が発令されていても講習を開講している場合は、欠席扱いになりますのでご注意ください。
5. 事前アンケート及び事後アンケート（事後評価）は、教員免許状更新講習の改善のために行うもので、修了認定に係る評価とは関係がありません。
6. 非常災害等緊急事態が発生し講習を中断した場合の代替日等については、HPをご覧ください。電話等での問い合わせには応じられないことがあります。
7. 講習中に外部と連絡をとることはできません。また、講習中の携帯電話等の使用はお控えください。
8. 成績の開示請求をされる方は、本学へお問い合わせください。
9. 本学は敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
10. 本学が実施する教員免許状更新講習の受講（会場までの移動を含む）に係る保険は、本学では加入しません。必要に応じて受講者において加入してください。

お問い合わせ先

学校法人享栄学園 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部

〒510-0298 三重県鈴鹿市郡山町 663 番地 222

TEL 059-372-3900 FAX 059-372-3903

E-mail kyomu@suzuka-jc.ac.jp

<http://www.suzuka-jc.ac.jp>